

ご使用の際は、コピーをして必要事項をご記入ください。

製品保証規定

保証期間：1年保証

- ご購入いただいた製品が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合に、本保証規定に従い無料で故障の修理をいたします。
- 修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理となります。
 - ご購入履歴が確認できない場合。
 - 本保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 弊社もしくは弊社指定保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因する故障および損傷。
 - 接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
 - ご購入後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適当なお取り扱い、または使用上の誤りにより生じた故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
 - 寿命を有する部品や消耗品（バッテリー、乾電池等）の自然消耗、摩耗、劣化等による場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- 製品保証に関しての記載も併せてご覧ください。

保証書

製品型番：	
ご購入日： <p>年 月 日</p>	保証期間： <p>製品保証規定を参照</p>
フリガナ <p>.....</p>	
お客様名： <p>〒</p>	様
住所：	
電話番号： <p>－ － E-mail：</p>	
販売店名、住所、電話番号（販売店印） <p style="text-align: right;">(印)</p>	

PRINCETON

株式会社プリンストン

URL: https://www.princeton.co.jp

製品保証に関して

- 万一、正常な使用状態において製品ご購入から2年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障の原因等の確認完了後、修理/製品交換対応させていただきます。なお、修理にて交換された本体および部品に関しての所有権は弊社に帰属するものといたします。
- 修理/製品交換の有償無償の判断につきましては、弊社または弊社指定の保守会社により行わせていただきます。
- 保証の対象となる部分は製品部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外させていただきます。
- 本製品の故障または使用によって生じた損害については、保証の範囲外となり、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、黙示的にも明示的にもいかなる保証も行っておりず、互換性問題や特定用途での動作不良等により発生する障害、損害、損失等について一切の責任を負いません。
- 一度ご購入いただいた商品は、弊社にて商品自体の不良が確認されない限り、返品または交換はできません。対応機種間違いによる返品はできませんのでご了承ください。

- 保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となり有償修理となります。
 - ご購入履歴が確認できない場合。
 - 保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 取扱説明書記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。
 - 弊社もしくは弊社指定の保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因した故障および損傷。
 - 設備、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。
 - お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障および損傷。
- 保証期間内であっても、次の場合は無償/有償問わず一切の保証はありません。
 - 紛失した場合。

- お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体・記憶装置に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容の消失、破損、変更等により生じる損害、逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、顧客からの信用喪失による損害、設備および財産の損害、設備等の交換費用、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用（人件費、交通費、復旧費）等、一切の損害につき弊社は、その責任を負いません。また、限定保証の明記がされていない場合であっても、弊社は、契約上または法律上一切の責任を負いかねます。

- 弊社は、製品を運用・使用した結果生じるあらゆる影響につき、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 消費者契約法等により弊社が賠償責任を負うこととなる場合、弊社はお客様が購入された弊社製品などの価格相当額を超えて賠償責任を負うものではありません。

製品修理に関して

- 保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社まで送付はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご送付の場にご送付させていただきます。
- 動作確認作業中および修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
- お客様に商品が到着した日から1週間以内は、お客様より弊社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社側の認定がなされた場合のみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際はご購入時の梱包、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
- 製造終了等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
- お客様の設定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料をいただく場合がございますので予めご了承ください。
- お客様の都合および、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料および送料を請求させていただいた場合がございますので予めご了承ください。
- サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付いただいた場合で、症状の再現性が見られない場合、および製品仕様 の範囲外と判断された場合、技術手数料を請求させていただきます場合がございますので予めご了承ください。

製品/お問い合わせに関して

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

Web からのお問い合わせ

URL https://www.princeton.co.jp/support/contacts

株式会社プリンストン
テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848
※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。
受付：月曜日～金曜日の9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

使用上のご注意

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。定期的なバックアップを取るなどの対策を予め行ってください。誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

安全上のご注意

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、必要とときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

⚠危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

- ⚠危険**
 - 本製品はパソコンなどの一般的なOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。人命に直接関わる場所や医療機器、輸送機器などの高い信頼性が要求される用途や目的には使用しないでください。

⚠警告

- ⚠警告**
 - 次のような異常が発生したときはそのまま使用したり、パソコンに接続しないでください。「煙が出ている、変な匂いがするなど異常があるとき」「内部に液体や金属物、異物が入ってしまったとき」「落下したり強い衝撃が加わったとき」「破損したとき」このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因になります。接続されている機器を取り外し、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- ⚠警告**
 - 次のような使用しないでください。「本製品を分解、改造する」「水などの液体で濡らす」「本製品の上に物を置く」「調理台のそばなど油煙があたる場所、浴室等、湿気が多い場所で使用する」「コネクターに異物を挿入する」「濡れた手で設置や操作をする」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。

- ⚠警告**
 - ケーブルを使用する際は下記のような使用はしないでください。「ケーブルに負荷をかけたり無理な力で巻く」「ケーブルのコネクターが正しく接続されていない状態で使用する」「ケーブルを接続したまま持ち運ぶ」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。

⚠注意

- ⚠注意**
 - 次のような場所に設置・放置しないでください。火災、感電、怪我の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」

- ⚠注意**
 - 次のような場所で使用しないでください。火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」

- !**
 - 下記の用法に従い正しくご使用ください。誤った使用は火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。
 - お手入れの際は、接続されている機器を取り外してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
 - 長い間使用しない場合は、接続されている機器を取り外してください。
 - 本書記載の動作環境内でご使用ください。
 - ケーブルは接続方向をよく確認の上、接続してください。
 - 本書に記載されている以外の機器を接続しないでください。

使用上の健康と安全に関するご注意

- 長時間のご使用は身体への負担が大きく、場合によってはお身体に違和感（痛みや痺れ、筋肉異常など）が生じる可能性があります。お身体に違和感を感じる前に休息を確保してください。

- お身体に違和感を感じた場合、直ちに本製品の使用を中止してください。休息しても改善しない場合や使用後すぐに違和感を感じる場合、使用時以外でも違和感が続く場合は、長時間の製品使用を避けるなどしてください。また必要に応じて医師にご相談ください。

- 使用中は本体が熱を持つ場合があり、長時間ふれたままにすると低温火傷の原因となる場合がございますのでご注意ください。異常な発熱を感じた際は、直ちに使用を中止して接続している機器から取り外してください。

キーボードに関するご注意

■ LEDの色について

- LEDの仕様上、「白色」と表現している箇所は、僅かに青みがかった白になります。

■ 動作環境に関するご注意

- 本製品はホットプラグ対応製品ですが、OS起動中に抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合がございますのでご注意ください。

- KVMスイッチ（CPU切替機）やUSBハブを併用した環境での動作は保証しておりません。

- USB2.0もしくはUSB1.1ポートへの接続を推奨します。

- USB3.0ポートでのご使用は、BIOSの設定変更が必要な場合があります。

- セットアップの際は、管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

印字通りに正しく入力できない？（キーボードの配列設定）

現在使用しているキーボードやOSの設定によっては、本製品を接続してもキーの印字通りに入力できない場合がございます。（例:[Shift] + [8]を入力したら [() (括弧)]では無く [*]が入力されるなど）必要に応じてキーボードの配列設定変更を行ってください。詳しい設定方法はご使用のOSのヘルプを参照してください。

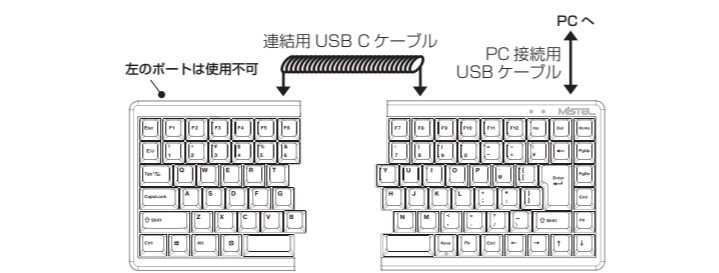
■ 例：Windows 11の場合

- Windowsマークを右クリック→「設定」を表示
- 「時刻と言語」を選択
- 「言語と地域」を選択
- 「言語」の「日本語」の […] アイコンから「言語のオプション」を選択
- キーボードの「キーボードレイアウト」から「レイアウトを変更する」を選択
- 「ハードウェアキーボードの変更レイアウトの設定」で使用するキーボード配列を選択して「今すぐ再起動する」を押してPCを再起動します。

（例：英語キーボード（101/102キーボード）から日本語キーボード（106/109キーボード）に変更する時は「日本語キーボード（106/109キー）」を選択します。）

キーボードの準備

左右連結で使用する場合／USB接続で使用する場合



- 付属の連結用USB-Cケーブルで左右のキーボードを接続します。
- USB接続でパソコンと使用する場合は、付属のPC接続用USBケーブルのUSB-Cコネクターを右キーボード（親機）の右側のUSB-Cポートに接続し、USB-AコネクターをパソコンのUSBポートに接続してください。

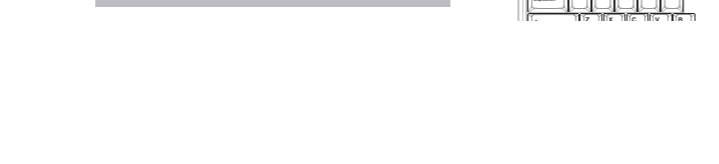
キーボードの連結を解除する場合は、必ず左のキーボードから取り外します。

- ⚠注意**
 - 左右のキーボードが連結用USB-Cケーブルで接続されている場合、左キーボードにPC接続用USBケーブルを接続してもキーボードは使用できませんのでご注意ください。

■ 左右個別に使用する場合

本製品は左右のキーボードを単体で使うことができます。左右個別で使用する場合は、PC接続用USBケーブルのUSB-CコネクターをキーボードのUSB-Cポートに接続してください。

- ⚠注意**
 - 左キーボードのみ使用する場合「マクロ登録」は使えません。



PRINCETON

MISTEL

BAROCCO MD770 JIS

ML-MD770-J シリーズ

ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。

- ご使用前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
- 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
- 本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

株式会社プリンストン

- 本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。
- 本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
- 本書では「®」は明記しておりません。
- 本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。予めご了承ください。

2024年8月初版

Copyright © 2024 Princeton Ltd.

同梱品

本製品のパッケージの内容は、次の通りです。お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

キーボード本体1
PC接続用USBケーブル（USB-A ⇄ USB-C / ケーブル長：約1.8m）1
連結用USB Cケーブル（USB-C ⇄ USB-C カールタイプ）1
Mistel キーブラー（キーキャップ取り外し工具）1
交換用キーキャップ（ESC、変換、Kana）1
ゴム足、取り付けネジ4

仕様

商品名	BAROCCO MISTEL MD770 JIS
接続方法	有線 USB
キー配列	日本語 JIS 配列
キー数	88 キー
キーキャップ	黒色 PBT
キー印字	白色ダブルショット
キースイッチ	Gateron / Cherry MX
バックライト	×
ホットスワップ	×
マクロ機能	○
ポーリングレート	1,000Hz
Nキーロールオーバー	○
メディアキー	○
電源	W320 x D140 x H28 ～ 34.5mm（左右一体時）
連続使用可能時間	約 810g（左右一体時）

- 対応 OS（2024年8月現在 ※）Windows 11 /10、macOS
- ※ macOSはSonomaにて動作確認済み。
- ※ OSのアップデートやハードウェアの仕様変更により対応できかねる場合がございます。予めご了承ください。

ファームウェアの更新について

最新のファームウェアは製造メーカーサイトにて公開しております。

【ファームウェアダウンロードページ】

URL https://mistelkeyboard.com/support

- ⚠注意**
 - ファームウェアの更新はWindows PCのみ対応となります。macOS やその他のOS からの更新はできませんので予めご了承ください。

製品保証に関して

必ず【製品保証に関して】をよくお読みいただき、十分内容をご理解いただいた上でご使用ください。

困った時は？

製品のよくあるご質問について	URL https://faq.princeton.co.jp/
製品情報や対応情報について	URL https://www.princeton.co.jp/

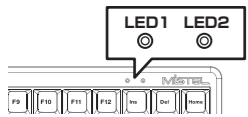
テクニカルサポート

Web からのお問い合わせ
URL https://www.princeton.co.jp/support/contacts

株式会社プリンストン
テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848
※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。
受付：月曜日～金曜日の9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

LEDの動作について



■ LED 1

レイヤー／マクロ登録モードのステータスを表示または各種リセット動作を表示します。本製品ではマクロ登録可能なレイヤーが3階層あります。本LEDは、現在のレイヤーが選択されているかを点灯色で表示します。その他リセット操作中に点灯／点滅します。

■ LED 2

CapsLockがオンになると点灯(赤色)します。

LED1色	キーボードの動作
消灯	初期レイヤー選択状態
赤	レイヤー1 選択状態
緑	レイヤー2 選択状態
青	レイヤー3 選択状態

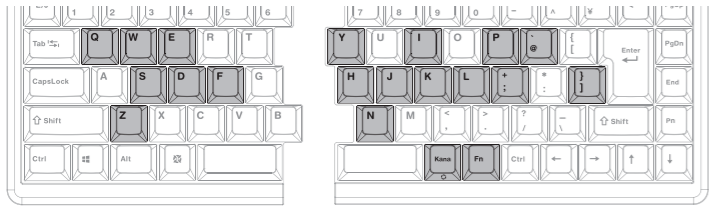
LED1色	キーボードの動作
白：点灯	マクロ登録モード起動
白：点滅	マクロ登録中 リセット中

【FN】【PN】キー／日本語入力について

【FN】【PN】キーと特定のキーを同時に押すことで、メディアプレーヤーの操作やキーボードの動作設定、レイヤー切り替えなどが可能です。

例：電卓を起動する → 【FN】キー＋【Y】キーを同時に押す

Fn 【FN】キーを押しながら下記操作



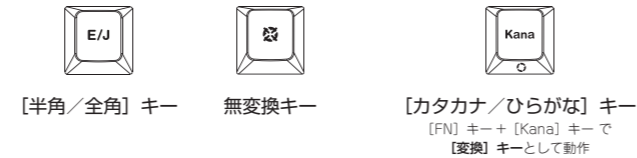
- 【Q】キー → 前のトラック
- 【W】キー → 再生／一時停止
- 【E】キー → 次のトラック
- 【S】キー → 音量上げる
- 【D】キー → 音量下げる
- 【F】キー → ミュート
- 【I】キー → 【↑】キーと同じ
- 【J】キー → 【←】キーと同じ
- 【K】キー → 【↓】キーと同じ
- 【L】キー → 【→】キーと同じ
- 【P】キー → 【PrtSc】キーと同じ
- 【@ (アットマーク)】キー → 【Scroll Lock】キーと同じ
- 【】 (右大括弧) キー → 【Pause】キーと同じ
- 【; (セミコロン)】キー → 【Insert】キーと同じ
- 【H】キー → 【Home】キーと同じ
- 【N】キー → 【End】キーと同じ
- 【Z】キー → 【APP/Menu】キーと同じ
- 【Y】キー → 電卓を起動
- 【Kana】キー → 変換キー

Pn 【PN】キーを押しながら下記操作



- 【M】キー → 初期レイヤー
- 【. (カンマ)】キー → レイヤー1
- 【. (ピリオド)】キー → レイヤー2
- 【/ (スラッシュ)】キー → レイヤー3
- 【】 (右大括弧) キー → キーボード配列変更
- 左【Windows】キー → 左【Windows】キーロック

日本語入力



【FN】 / 【PN】キーの位置を変更する (リマップ)

【FN】キー および 【PN】キーを任意のキーに移動 (リマップ) することができます。【FN】キー および 【PN】キーのリマップ後は、元の【FN】キーは右【Windows】キーとして、元の【PN】キーは【APP/Menu】キーとして動作します。

- △注意**
- 左【Shift】キーと右【CTRL】キーの位置にはリマップできません。
 - 【FN】【PN】キーは同じレイヤー内に1箇所設定可能です。
 - 【FN】キーや【PN】キーのリマップ先を忘れてしまった場合は、選択中のレイヤーをリセットして、再度リマップしてください。その際、選択中のレイヤーに登録されている全てのマクロ設定もリセットされますのでご注意ください。

■ リマップ手順

- リマップするレイヤーを選択する
「マクロ機能／レイヤーの切り替えについて」を参照して、リマップするレイヤーを選択します。
※以降【PN】キーをリマップする場合は【FN】を【PN】に置き換えてお読みください。
- 【FN】キーと左【Shift】キーを同時に長押しします。
LED1が3回点滅(白色)した後、選択中のレイヤーのLEDの色に戻りますのでキーを離します。
- キーを離すとLED1は点滅(白色)しますので【FN】キーのリマップ(移動先)に設定するキーを押してください。
LED1が選択中のレイヤーのLEDの色に戻り、リマップが完了します。

キーのロック／配列変更

■ 左【Windows】キーをロック／解除する

【PN】キー＋左【Windows】キーを同時に押すと、左【Windows】キーがロックされます。ロックを解除する場合、再度上記操作を行ってください。

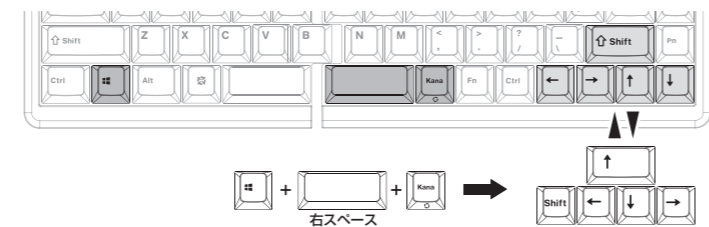
■ キーボード配列切り替え機能

【PN】キーと【】(右大括弧) キーを同時に押すごとに下記の通りキーの配列が切り替わります。

「QWERTY」(初期設定)
↓
「DVORAK」(xがaとして入力されます)

矢印キーと右Shiftキーの位置を変更する

左【Windows】＋右【スペース】＋【Kana】キーを同時に押す毎に、矢印キーと右【Shift】キーの動作が変わります。



マクロ機能／レイヤーの切り替えについて

マクロ機能とは、任意のキーに任意の動作(マクロ)を割り当てることができる機能です。

例：【H】キーに【Space】キーの機能を割り当て → 【H】キーを押した時に【H】が入力されず「Space」キーとして動作します。
→ 【FN】キー＋【H】キーでマクロ割り当て前の【H】が入力されます。

マクロ機能では、複数のキーに設定されたマクロセットを1レイヤーとしてグループ化でき、仕事やゲームなど用途に応じてキーボードの機能や配列を使い分けすることができます。レイヤーは初期のキーボード配列(＝初期レイヤー)とは別に最大3レイヤー登録することができます。

■ レイヤーの切り替え

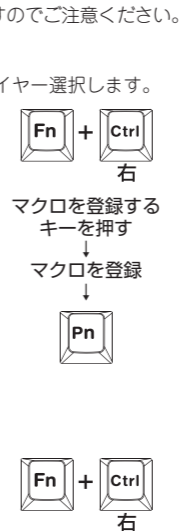
下記のキー操作でマクロ登録するレイヤーを選択します。

選択レイヤー	切替操作	LED1の状態
初期レイヤー	【PN】キー＋【M】キー	消灯
レイヤー1	【PN】キー＋【. (カンマ)】キー	赤色点灯
レイヤー2	【PN】キー＋【. (ピリオド)】キー	緑色点灯
レイヤー3	【PN】キー＋【/ (スラッシュ)】キー	青色点灯

■ マクロの登録手順

途中30秒間キー操作が無い場合、マクロ登録前の状態に戻りますのでご注意ください。

- マクロを登録するレイヤーを選択する
前述「レイヤーの切り替え」を参照してマクロを登録するレイヤーを選択します。
- マクロ登録モードを起動する
【FN】キー＋右【CTRL】キーを押して離す → LED1が点灯(白色)してマクロ登録モードが起動します。
- マクロを登録するキーを押します
→ LED1が点滅(白色)します。
- マクロを登録します
登録したい内容(キー)を押して、最後に【PN】キーを押すとLED1が点灯(白色)して登録内容が保存されます。
例：【L】キーを押したときに【P】キーとして動作するマクロを登録する場合は、手順3で【L】キーを押して手順4で【P】キーを押します。
- 手順3と手順4を繰り返し、その他のキーにも登録します。
- マクロ登録モードを終了する
全ての登録が完了したら【FN】キー＋右【CTRL】キーを押して離す → LED1が消灯してマクロ登録モードが終了します。



macOSモードについて

MacOSのキーボード配置を再現するためにキーの動作を変更したモードです。

■ Windows配列(初期設定) ⇔ macOSモードの切り替え

【PN】キー＋【Tab】キーを押す毎に配列が切り替わります。

● macOSモード時のキー動作と配置の変更

- 左【Windows】キー(Comand)と左【ALT】キー(Option)が入替わり、【Option】キーと【Command】キーの機能が追加
- 左【CapsLock】キーと左【Ctrl】キーが入替わる
- 【無変換】キー → macキーボードの【英数】キーとして動作
- 【Kana】キー → macキーボードの【かな】キーとして動作

マルチメディアキー機能追加

キー	動作	キー	動作
F1	ディスプレイ輝度を下げる *1	F7	前のトラックへ *4
F2	ディスプレイ輝度を上げる *1	F8	トラックの再生／一時停止 *4
F3	Mission Control	F9	次のトラックへ *4
F4	Launchpad *2	F10	ミュート(消音)
		F11	音量を下げる
		F12	音量を上げる

【F1】～【F12】キーとして入力する場合は、【FN】キーと【F1】～【F12】キーを押します。

- *1：ラップトップ／ノート機種のみ機能します。外付けディスプレイでは動作しません。
- *2：Launchpadキーとして使用する際は、macOS側で設定が必要です。

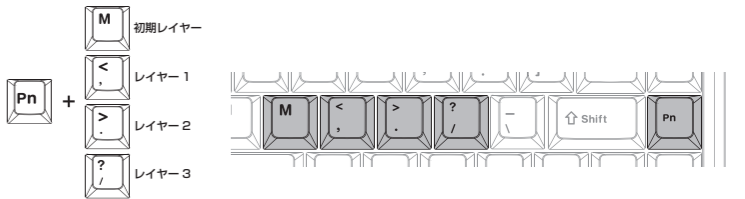
－設定方法－

- アップルメニュー → 「システム環境設定」 → 「キーボード」の順に選択します。
- 「キーボードショートカット」ボタンを押します。
- リストから「Launchpad」と「Dock」を選択します。
- 右側に表示されたリストの「Launchpadの表示」のチェックボックスをオンにし、右端のキーコンビネーション欄をクリックし、【F4】キーを押して設定してください。

- *3：本製品のバックライトがオンの時に動作します。
- *4：Apple Musicなどのメディアプレーヤーが起動中の時に動作します。

△注意

- 初期レイヤーにはマクロ登録はできません。
- 【FN】キーおよび【PN】キーへのマクロ登録はできません。また、【PN】キーと同時押すことで動作する機能をマクロとして登録することはできません。



■ 遅延間隔の設定

遅延間隔では、マクロ登録されたキーの入力間隔を設定することができます。設定は手順4で登録したい内容を入力する際、下記のキーを併用することで遅延間隔を設定します。

- 【FN】＋【T】 → 15ms 追加
- 【FN】＋【G】 → 0.1s 追加
- 【FN】＋【B】 → 0.5s 追加

例：遅延間隔を1秒(0.5s × 2)に設定する場合は、【FN】キーと【B】キーを2回入力します。

設定例

【N】キーを押した際に「NO」と入力されるマクロで、【N】と入力された後1.1秒後に【O】が入力されるマクロを登録する場合

- 手順3で【N】キーを押して、手順4で【N】キーを押します。
- 遅延間隔を設定します。【FN】キーと【B】キーを同時に2回、【FN】キーと【G】キーを同時に1回押します。
- 続いて【O】キーを押します。

■ 登録済みのキーに別のマクロを登録する方法

手順3でマクロを変更したいキーを2回押します。LED1が点滅(白色)したら手順4に進みマクロを登録してください。

■ 登録されているマクロを消去(元のキーに戻す)する方法

手順3でマクロを変更したいキーを1回押すとマクロ登録が解除されます。手順6の操作でマクロ登録モードを終了します。

リセット／工場出荷時の状態に戻す

- △注意** レイヤーを初期化すると、マクロ設定や【FN】【PN】キーのリマップ設定が全て工場出荷時の状態に戻ります。

■ 選択中のレイヤーをリセットする(初期レイヤーと同じ配列にする)

- 「マクロ機能／レイヤーの切り替えについて」を参照して、リセットするレイヤーを選択します。
- 【FN】キーと【R】キーをLED1が5回点滅(白色)するまで、同時に長押しします。LEDが消灯したらリセット完了です。

■ 全てのレイヤーを工場出荷時の状態にする

左【CTRL】キーと右【CTRL】キーをLED1が5回点滅(白色)するまで、同時に長押しします。LEDが消灯したらリセット完了です。

リセット操作後は、本製品の電源をOFFにして接続しているケーブルを全て取り外し再度接続することをお勧めいたします。